

平成30年度

会派 新世クラブ

視察等報告書

●長崎県波佐見町 視察

平成30年7月24日(火)～7月26日(木)

●第13回全国市議会議長会

研究フォーラム(栃木県宇都宮市)

平成30年11月14日(水)～

11月15日(木)

## 新世クラブ行政視察報告

### 1 視察の目的

(1) 窯業関連振興施策について・・・ 長崎県波佐見町（波佐見焼）

伝統のある地場産業である土岐市の陶磁器関連業の推移の一部です。

		平成 3 年	平成 24 年
食卓用・厨房用陶磁器製造業	事業所数	520	383
	従業員数	6,262	2,519
陶磁器の絵付け業	事業所数	261	70
	従業員数	1,060	218
陶磁器用はい土の製造業	事業所数	36	15
	従業員数	319	211
その他の陶磁器・同関連製品製造業	事業所数	402	78
	従業員数	1,004	205
石膏製品の製造業	事業所数	51	31
	従業員数	219	84

上の表のように大きく減少の一途をたどっています。少子・高齢化を迎え、土岐市を生み、土岐市を育ててきた陶磁器関連業が数々の課題を抱えています。後継者問題、原料確保、商品の開発、需要の内容、シェア拡大などなどです。焼き物生産量「日本 1」を誇るこの伝統産業の危機を感じています。

市長は、2013 年 5 月 1 日号の市長コラムの中で「地場産業が長く続くには、その土地の自然条件や技術を持った人の育成が欠かせません」と述べておられ、第 5 次総合計画の第 2 章「元気を生み出すまち」の「1 陶磁器産業の振興」のなかで数値目標を掲げました。また、「後継者の育成・技術力の強化」が挙げられ、伝習生、技術等講習会、デザイナーや絵付け職人、鋳込み職人を 2 カ所の事業所で募集し人材を育成 するなどの施策を実施してきました。

	現状	27 年目標
・ 窯業・土関製品製造出荷額	66, 6 億 94 百万円	700 億円
・ 陶磁器関連イベント来場者数	61 万 5 千人	74 万 5 千人
・ 伝習生の数	3 人	5 人
・ 陶磁器デザイン技術講習会受講者数	30 人	90 人
・ 新規デザイン採用件数	150 件	190 件

が、なかなか数値目標には達していません。

同様な悩課題を持つ波佐見町を視察し、少しでも土岐市が住みやすい街になるように、次の視点で視察をします。

- ① 地場産業の陶磁器産業の活発化のために、人材の育成の現状をどのように把握し、今後どのように育成していく方向ですか。
- ② 現在も実施している施策・事業はどんなものがありますか。
- ③ その実施している施策・事業の効果をはどのようにですか
- ④ 販路開拓について
- ⑤ 情報発信について
- ⑥ 業界団体との連携について

(2) 熊本地震の被害情報と復興への取り組みについて

熊本地震ではこんな報道がありました。「ある小学校。続々と避難者が来た。パトロールに来た警官が『誰が体育館を開けたのか』。地震後、十分な安全確認をしないまま体育館を使うのは危険だ。という指摘。が避難者の不安な顔を見て『出てくれ』とは言えない」。

続いて、「地域リーダーとして避難場所を開設するはずの地元自治会役員が姿を見せなかった」「市役所の職員も運営を担うはずだったが市も混乱していた。マニュアルにある区の担当職員は学校に行けず、代わりに、緊急招集された職員が1人来た」

「校長と教頭が苦情の矢面に立った。なぜ体育館に入れなのか。毛布を市に頼まないのか」。運動場には500人の避難者。毛布は20枚。夜が明け、100人分の備蓄のアルファ米を150人分に分けて、事務室でお湯を沸かしてつくり配った。食糧は尽きた。支援の食パンは夜に届いた。

南海トラフ巨大地震の土岐市における被害想定は次のようです。

震度			6弱
建物被害	全壊		1, 396棟
		揺れによる	418棟
		液状化	978棟
	半壊		4, 187棟
		揺れによる	2, 691棟
		液状化	1, 496棟
火災による焼失棟数（午後6時の発生で）			9棟
人的被害（午前5時の発生）	死者		25名
	負傷者		625名
建物被害焼失による避難者数			5510人
帰宅困難者			293人

今後30年以内に70～80%の確率で発生するとされる「南海トラフ地震」。東海沖から九州沖の海底に延びる溝状の地形（トラフ）で起きる可能性があります。日本列島が乗っている陸側のプレート（岩版）に、フィリピン海プレートが沈み込む南海トラフ沿いでは、蓄積

したひずみが解放される大地震が100～200年間隔で発生し、マグニチュード9級の巨大地震が懸念されています。発災前、発災直後、復興に向けてなど、庁舎の被害を受けた宇土市から学ぶことは多いと考え、次の視点で視察をします。

- ① 災害発生時に市民のために何を優先させるべきか。また、事前に準備しておけば被災時に有効だったと思われる事項は
- ② 災害公営住宅の入居率の推移と被災から2年経過して見えてきた災害公営住宅の課題などは
- ③ 被災者支援制度について、支援制度活用状況と効果的であると思われる制度、見直す必要があると思われる制度について
- ④ 熊本地震被災後に新たに根付いた防災の取り組みについて



## 2 視察先

(1) 波佐見町役場 〒859-3791

住所 長崎県東彼杵(ひがしそのぎ)郡波佐見町宿郷660番地

Tel 0956-85-2111

Fax 0956-85-5581

(2) 宇土市役所 〒869-0492 住所 熊本県宇土市浦田町51番地

Tel 0964-22-1111

Fax 048-922-3091

3 視察期間 平成30年7月24日(火)～7月26日(木)

4 視察者 杉浦司美 西尾隆久 楓博元 加藤淳一 山田正和 各務和彦 水野哲男  
加藤辰亥

5 視察行程(2泊3日)

7月24日(火)

土岐市役所出発(08:30)～名古屋空港(9:40着 10:40発)～(FDA305/JAL4405)  
～福岡空港(12:00着 昼食 13:37発)～(地下鉄空港線)～博多駅(13:43着 14:31  
着)～(JRみどり15号)～佐世保駅(16:35着) 佐世保ワシントンホテル

7月25日(水)

ホテル(8:10発)～佐世保駅(8:27発)～(JR佐世保線・大村線)～川棚駅(9:00

着) ~川棚バスセンター (9:10 発) ~ (西肥バス) ~波佐見町役場前 (9:28 着) ~波佐見町役場・OYANE 西海陶器 (9:45 ~ 11:15) ~昼食~波佐見町役場 (12:40 発) ~有田駅 (13:00 着 13:11 発) ~ (JRハウステンボス 16号) ~鳥栖駅 (14:10 着 14:20 発) ~ (JR鹿児島本線) ~宇土駅 ((16:10 着) ホテルベンデナート

7月26日(木)

ホテル (9:10 発) ~宇土市役所 (9:30 ~ 11:30) ~宇土駅 (12:01 発) ~ (JR) 鹿児島本線 ~熊本駅 (12:14 着 12:22 発) ~ (JR豊肥本線) ~肥後大津駅 (12:56 着 12:56 発) ~ (タクシー) ~熊本空港 (昼食 13:15 着 15:25 発) ~ (FDA326 / JAL4346) ~名古屋空港 (16:45 着) ~土岐市役所 (17:55 着)

## 6 宿泊

7月24日(火) 佐世保ワシントンホテル

〒番号 857-0834 住所 長崎県佐世保市潮見町12-7  
電話番号 0956-32-8011

7月25日(水) ホテルベンデナート

〒番号 857-0834 住所 熊本県宇土市本町3-29  
電話番号 0964-22-0880

## 7 波佐見町 江戸時代前期より焼き物が始まる

### (1) 土岐市との比較

	土岐市	波佐見町
面積 (km <sup>2</sup> )	116.16	56
人口 (人)	59,107	14,940
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	515.8	261
木	ヒトツバタゴ	モチノキ
花	キキョウ	ツツジ

### (2) 波佐見町の現状と背景

400年の歴史があり、もともと波佐見は有田の傘下であり、有田磁器の生地の供給地であり下請けであった。従って、生地の会社が多い。分業制(30年代盛ん)である。現在は3分の1に減少しており。知名度はアップしているが売上高増には至っていない。波佐見では、生地ば



かりでなく、少しずつ製品も増やしていき、有田焼で販売していたが、有田から、「有田焼」の名前を使ってはいけない。との申し入れがあったので波佐見焼として販売するようになった。有田焼は手造りきが主でなので量的生産は少ない。波佐見焼は大量生産を目指している。割合では有田焼が〇千個にたいし、波佐見焼は〇万個の程度になる。また、有田焼は金・銀を多用し、海外が主となっており、有田は工芸品、波佐見は大量生産で日常生活用品が主となっている。また町会議員の半数以上が陶磁器業に関連している。165 mで33室の世界最大規模の登り窯がある。

### (3) 課題について

- ① 地場産業の陶磁器産業の活発化のために、人材の育成の現状をどのように把握し、今後どのように育成していく方向ですか。
  - ア 後継者不足には悩んでいる。
  - イ 地元の高校との連携でラッピング依頼
  - ウ 地元の関連企業への就職を念頭に奨学金の貸与などを実施
  - エ 美術大学などで窯業関連の人材の取り込み、研修制度の実施。28年度3人、29年度2人、30年度2人の実績。
  - オ 外国人の雇用はない。
- ② 現在も実施している施策・事業はどんなものがありますか。
  - ア 地場産業（窯業・農業）の振興
    - i 波佐見焼ブランドの確立
      - ・全国各地の百貨店と連携している。
    - ii 波佐見焼知名度アップ
      - ・10年以上継続している東京ドームのテーブルウエアフェスティバルは入場者28万人と好調である。
    - iii 原材料確保・開発と資源の有効活用
      - ・天草から仕入れている。
      - ・採掘が大変
      - ・質が悪い粘土の利用可能研究をする
      - ・埋蔵量はある。
      - ・選別者が高齢になり、原料不足。
      - ・まだまだ大丈夫と聞いている。
    - iv 異業種交流・融合と新分野の開拓
      - ・漆器の会津塗などとコラボしている。
      - ・「とうのう」事業は「陶器」と「農業」のこらぼである。
- ③ その実施している施策・事業の効果をはどのようにですか

東京ドームテーブルウェアフェスティバル 出店 波佐見焼フェア in 吉祥寺などを行っており、知名度は上がっているが、あいこいも波佐見焼展 in 代官山は補助金カットで今年度は見送った。など 3 歩進んで 2 歩下がるなどの効果である。

④ 販路開拓について

・国際テーブルウェア EXPO など、東京ドームや東京ビッグサイトなどで、業者を対象にしたフェスティバルなど一般、個人向けの販路開拓にも努力している。

⑤ 情報発信について

・運送業やのトラックにラッピング広告を載せるなど各種の情報発信を行っている。

⑥ 業界団体との連携について

・地方創生補助金や長崎県 21 世紀まちづくり推進補助金の活用などで連携している。  
・窯業・商工関係へ 18 事業、観光関係へ 5 事業、商工観光施設管理へ 6 事業、独自事業やイベントなど 9 事業を実施している。

8 土岐市への導入

(1) 交通関係車へのラッピング

(2) 高校生・大学生への積極的な伝統工芸品への関与

(3) 異業種とのコラボ (とうのう・・・陶器と農業)

① 農業のコメ作りと食事と器、同じように麦、蕎麦、イモなど。

(4) 人材育成の重要性

(5) 原材料の質の向上の研究

9 宇土市

	土岐市	宇土市
面積 (km <sup>2</sup> )	116.16	74.30
人口 (人)	59,107	36,451
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	515.8	491
木	ヒトツバタゴ	きんもくせい
花	キキョウ	あじさい

(1) 現状

田舎に行けば未だ半壊の家もある。家屋解体は 1109。あまりである。建築材料が高騰しており、1 坪 50 万～100 万円かかるとも言われている。公共施設の入札については、当初は 2 割が不調であったが、現在は少し改善している。施設では老人センター 1 軒のみ完成がある。体育館 1 つは手つかず、業者も手一杯で復興が進まない。市民が仮家屋なので新庁舎の建設はまだできない。ちなみに市庁舎のプレハブリース代は 3 億円である。市道、県道、国道などの現状では、一部は残っているがほとんど復旧している。



## (2) 課題について

- ① 災害発生時に市民のために何を優先させるべきか。また、事前に準備しておけば被災時に有効だったと思われる事項は
- ・最優先すべきはDCP（業務継続計画）が大切。発災後3日間は通常業務は難しい。4月いっぱい通常業務はなし、災害業務に集中した。
  - ・防災計画の職員への徹底。支援物資の分配計画は事前に人的割り振りを計画する。
- ② 災害公営住宅の入居率の推移と被災から2年経過して見えてきた災害公営住宅の課題などは

- ・高齢者は自宅再建が困難。

- ③ 被災者支援制度について、支援制度活用状況と効果的であると思われる制度、見直す必要があると思われる制度について

- ・人的支援で土岐市からも家屋調査士がを派遣してもらった。全国的な支援制度は効果がある。



- ④ 熊本地震被災後に新たに根付いた防災の取り組みについて
- ・職員の召集は平成25年度から訓練をしていた。メール制度、非常召集制度を行っている。6～8月に事前連絡なしの召集訓練を行う。
  - ・指定管理を受けていた職員に避難所運営に参加してもらうことも効果がある。

### ⑤ 議会の対応

4月14日（木）、4月16日（土）

地元での対応。事務局長からの情報交流

4月27日 全員協議会

5月9日 議会運営委員会 6月議会は短縮 一般質問は会派1人。

常任委員会 課題や要望書 要望活動

5月23日 全員協議会 市より経過報告

9月30, 31日 国へ要望活動

### ⑥ その他

- ・罹災証明書は何回もの人もいる。

- ・福祉避難所は1カ所、病気など感染症防止は事務室など1部屋を確保。
- ・小中学生のボランティアがよく動いた。女子が男子トイレまできれいに掃除をした。
- ・4月14日からの余震は約4500回。
- ・庁舎は昭和34年建設
- ・入れなかった庁舎に残った資料の持ち出しは、別のサーバーに残っている。個々のパソコンには残っていない。保険関係、道路台帳などは職員が取りに入った。
- ・支所に対応できたものもある。

## 10 土岐市へ

### ① 業務継続計画について

- ・発災後は災害業務と通常業務、通常業務と災害業務を兼ねる事柄などを仕分けして行う。
- ・数々のデータはサーバーに残す。
- ・被害の少なかった支所の活用も。

### ② 避難物資のスムーズな流れを作る。

### ③ 中高生にボランティアの一部を無理なくやってもらう

### ④ 防災計画について、職員や自治会などにできるだけ徹底

## 1 参加のねらい

「土岐市議会基本条例の前文には、土岐市議会議員は市民が平等に安全・安心で豊かな暮らしを享受することができ、住んでよかったと実感できる土岐市のまちづくりを推進するため、その役割と責務を果たすための活動に取り組みます。また、議会の尊厳を重んじるとともに、多様な市民の声に耳を傾け、自らの普段の研鑽による創意工夫と行動に基づき、先人たちからの脈々と伝承されてきた伝統や産業そして自然を愛し、未来を見据えたまちづくりを推進する活動をします。さらに近年、地方分権あるいは地域主権が唱えられ、推進している状況を踏まえ議員の責務や活動原則を定め、市民との関係や市長などの執行機関との関係を明確にするとともに、市民の信託に全力で応えていくことを決意することが、市民から議会に対する信頼と評価が高まることにつながると考えます。」とあります。

また、議会基本条例の第3章「市民と議会の関係」では「第6条 議会は市民に積極的にその有する情報を発信し、説明責任を十分果たさなければならない。2 議会は、本会議のほか、全ての議会を原則公開とする。3 議会は、請願及び陳情を政策提案として受け止めるとともに、請願者または陳情者から発言の申出があったときは、特別の事由がない限り、意見を聞く機会を設けなければならない。4 議会は地方自治法に規定する学識経験者等による専門的調査並びに公聴会制度及び参考人制度を十分に活用し、専門的または政策的意見を議会に反映させるよう努めるものとする。第7条 議会は説明責任を果たし、市民の多様な意見を把握し、または市政の諸課題に柔軟に対応するため、市民及び議員が自由に情報を意見交換する議会報告会を年1回以上行う」とあります。

現在の地方議会は、議会制民主主義による住民自治の確保という極めて重要な機能を担っているにもかかわらず、議員選挙の投票率は低下傾向にあり、特に小規模市町村において、地方議員のなり手不足の問題が顕在化し、選挙で定員割れを起こす自治体も出る事態となっています。地方議会では、議会改革の一環として、議会報告会、休日・夜間会議や子ども・女性議会の開催など、住民代表としての機能強化を積極的に推進していますが、必ずしも、住民に身近で魅力的な存在になっていない面があるのではないかと考えられます。住民の意向をくみ取り、執行機関に対する監視や政策提言を行うといった、議会本来の役割に対する住民からの信頼を高めるためには、議会を多様な価値観や意見を持つ住民に身近なものにする取り組みをこれまで以上に行っていく必要があります。

土岐市においても今年で第5回目となる議会報告会を開催しました。今回は「病

院」という市民も関心が高いテーマで実施しましたので、参加者も多く、意見もたくさん出ました。今後、今以上に議会に対する住民の関心を高めることができるか。



全国より市議会議員が一堂に会し、「議会と住民の関係」について情報や意見の交換を行う場で、地方分権の時代に即応した「議会機能の充実と活力に満ちた地域づくり」を模索し、土岐市の議会基本条例の精神に資することがねらいであります。

道の駅「うつのみや ろまんちっく村」は農林業への理解を深め、食文化及び健康づくりに親しむ場を市民に提供することにより、農林業の振興と地域の活性化を図るとともに、市民の余暇活動の充実に寄与しています。近年、指定管理者による運営が奏功し、入場者が増加しています。土岐市にも道の駅が2箇所あります。専ら観光客が主に利用しています。しかし、市民の憩いの場所として新しく活用することも大切です。視察することにより、土岐市の道の駅にも取り入れていきたいと考えます。

大谷資料館はかつて採石業とともに発展してきた大谷地域においては、奇岩群などの特異な景観や採取場跡地などの魅力ある資源を活用することで地域振興に取り組んでいます。本年5月には、大谷石文化の歴史が日本遺産の認定を受けました。

土岐市においても、粘土採取の鉱山跡地、花崗岩を採取した石切場後、砥石の採取をした跡地など、整備すれば、遺跡として観光資源になる地域もあります。活用していきたいものです。

世界遺産「日光の社寺」（日光東照宮）は日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺の二社一寺の103棟の「建造物群」とこれらを取り巻く「遺跡（文化的景観）」が1999年（平成11年）12月開催の世界遺産委員会において、登録が決定されました。土岐市には相当するものではありません。しかし、発掘すれば東濃地域にそれに相当するものが新しく構築できる可能性もあます。

屋台のまち中央公園は中心市街地の重要な伝統文化の拠点として整備され、ユネスコ無形文化遺産「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」で巡行する絢爛豪華な彫刻屋台の展示収蔵施設を中心に、日本庭園「掬翠園」、志野観光物産の情報発信基地となっている観光物産館があります。土岐市では、アウトレット近くにあるテラスゲート、2箇所の道の駅などが観光物産の基地であります。今後はどのようにそれらを組織化をしていくか、観光物産館と市民の憩いの場所、まちづくりの一環として計画的に実施していくための視察をします。

## 2 参加者 8名

杉浦司美 西尾隆久 楓博元 山田正和 加藤淳一 水野哲男 各務和彦  
加藤辰亥

## 3 会場

(1) 宇都宮市文化会館 〒320-0870 栃木県宇都宮市明保野町7-66  
TEL 028-636-2121

(2) まちづくり・観光振興などの各施設

## 4 参加期間 平成30年11月14日（水）～11月16日（金）

## 5 行程（2泊3日）

11月14日（水）7:15 集合（切符配布）

土岐市出発（07:50）～名古屋（08:40着 09:16発 14番線）～（のぞみ306号指定席）東京（10:56着 11:08発 20番線発 なすの257号 指定先）～（昼食）～宇都宮駅（12:05着）

12:30着 宇都宮市文化会館（シャトルバス）

12:00 開場

13:00 開会式

13:20 基調講演 第1部「共生社会と地方自治体」宮本太郎 中央大学法学部教授

14:40 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」

パネリスト 江藤俊昭 山梨学院 法学部教授  
今井 照 公益財団法人 地方自治総合研究所主任  
本多 節 ひまわり亭 代表取締役  
神田誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者  
小林紀夫 宇都宮市議会議長

16:50 終了

17:30 シーラックパル宇都宮着

栃木県宇都宮市陽東町 5-20-12

TEL 028-689-5586

〒番号 321-0904

(宇都宮文化会館から車で約 20 分)

### 11月15日(木)

8:15 シーラックパル宇都宮発

8:40 宇都宮市文化会館着 (会館 8:30)

9:00 課題討議 「議会と住民の関係について」

コーディネーター	江藤俊昭	山梨学院 法学部教授
報告者	桑田哲男	久慈市議会副議長
	伊藤健太郎	新潟市議会議員
	ビアンキ・アンソニー	犬山市議会議長
	道法知江	竹原市議会議長

11:00 閉会

11:30 視察バス発 (宇都宮市文化会館発)

12:00 昼食 (宇都宮市内) ~道の駅 うつのみや ろまんちっく村 (13:00  
着 14:00 発) ~大谷資料館 (14:30 着 15:30 発) ~日光 (16:30  
着)

16:30 日光市鬼怒川温泉「ホテルハーヴェスト鬼怒川」着

栃木県日光市鬼怒川温泉大原 14-10

〒番号 321-2522

TEL 0288-76-0100

食事は外。

### 11月16日(金)

8:45 ホテル玄関集合・出発

9:30 世界遺産「日光の社寺」視察

11:00 東照宮発

11 : 30 昼食着

12 : 30 昼食発

13 : 30 屋台のまち中央公園着

14 : 30 屋台のまち中央公園発

15 : 30 宇都宮駅着

宇都宮駅 (15 : 58 発 4 番線) ~ (やまびこ 144 号 指定席) ~ 東京 (16 : 48 着) 夕食

東京 (18 : 01 発 16 番線) ~ (のぞみ 57 号 自由席) ~ 名古屋駅 (19 : 47 着 20 : 08 発 11 番線) ~ 土岐市 (着 20 : 51)

## 6 宿泊

11 月 14 日 (水)

シーラックパル宇都宮着

栃木県宇都宮市陽東町 5-20-12

〒番号 321-0904

TEL 028-689-5586

(宇都宮文化会館から車で約 20 分)

11 月 15 日 (木)

日光市鬼怒川温泉「ホテルハーヴェスト鬼怒川」

栃木県日光市鬼怒川温泉大原 14-10

〒番号 321-2522

TEL 0288-76-0100

## 7 基調講演 「共生社会」をどうつくるか

宮本太郎 (中央大学法学部教授)

(1) 2040 年問題

日本人の半数が 107 歳まで生きる時代。寿命まで働けば 20 万時間

20 歳から 65 歳までの就労時間は 10 万時間 (8 時間 × 300 日 × 45 年間)

65 歳から 107 歳までの就労時間も 10 万時間 (8 時間 × 300 日 × 42 年間)

(2) 就職氷河期の年齢がそのまま高齢化 高齢単身男性は会話頻度が少なく、孤立し、困窮度が高まる。幸福感が広がらない。

(3) 現役世代はどうか。

30 代男性の正規雇用の未婚率は 30.7 %、非正規雇用は 75.6 %

子ども一人の値段は 2 億 5 千万円。子育てをしようとするか。

(4) 「支える」「支えられる」で考えると

現役世代 : 高齢世代

1960 年代

10 : 1 (現役世代 10 人で高齢世代 1 人を支える)

2040年

1.5 : 1 (実質的には 0.5 : 1)

(現役世代 1.5 人で高齢世代 1 人を支える)

(5) 地方から東京へ

東京は、高齢人口が 90 万人増、しかも出生率は全国最低



(6) 2040年問題

地方は高齢化がピークを過ぎるが現役世代がさらに減少

都市圏は人口規模は維持するが出生率は低く、高齢化は増加

(7) 現在の地域差

	収入(17年)	保育料	就学援助	国保
東京都港区	1115万円	1万6000円	436万円以下	23万円
大阪府寝屋川市	303万円	3万800円	290万円以下	46万円

(8) どうすればいいのか 住民全員が人財へ 人口減少をチャンスに  
生涯現役を保つ。

- ① 生活困窮者自立支援制度
- ② 町の保健室(三重県名張市)
- ③ 職場の間口を広げる。ユニバーサル就労。1人で全部を担うのではなく、一



つの仕事をみんなで担い、できることをやっていく。

- ④ 大阪府豊中市 高齢、困窮、勢・保険収納課の窓口から紹介し、労働時間、仕事の内容について企業に同行し個別交渉をする。

青森県弘前市、千葉県香取市

- ⑤ 定年後男性の地域デビュー

- ⑥ 生涯出番のある町へ

- ⑦ 養老サービスから幼老サービスへ

福井市広島県安芸郡府中町の「シルバーまま」

柏市の生きがい就労

「グランドシッター」

- ⑧ 多様な「縁」の創造 家族縁 地域縁、仕事縁

鹿児島島の長屋タワー

京都市すまい生活支援事業

ごちゃ混ぜ地縁づくり 金沢市

- (9) 高齢者は体力向上だけではない

- ① 流動性知能は20代までの急速に伸び加齢により下がる

直感力 法則を発見する能力 図形処理能力 処理のスピード

- ② 結晶性知能は65歳まで延び、徐々に下がる

言語能力 理解力 洞察力 批評能力 創造力 内省力 自制力

社会的応力 コミュニケーション力

- ③ 両方のもの

推理力 判断力 発想力 記憶力 計算能力

- (10) おばあさん能力

人間は生物としては異例な生き物。自らの生殖能力を終えた固体がずっと長生きをする。ここに人類発展の条件があった。

おじいさん（おばあさん）の世代が自らの出産・子育て経験を言語で子どもの世代に伝え、子育てを支援することで、その後の人間の高度な発展が可能になった。

- (11) ずっと出番がある町では

生活習慣病が少ない 介護も少ない。うつも少ない。

- (12) 自治体任せではできない

## 8 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」

- (1) コーディネーター 江藤俊昭 山梨学院 法学部教授

平成の大合併に反対し地道な自治をつくり出した自治体が評価されている。

分断された地域地域住民の意見を集約し統合して地域の発展につなげる  
自治体独自では対応できない課題は、自治体間連携を進める中で協議する。  
上記の中での議会の活動を議論する。

(2) パネリスト 今井 照 公益財団法人 地方自治総合研究所主任

①無投票率が高いのは県議会と町議会、低いのは市と指定都市議会議員。市会議員の選挙の無投票率は低い。

②行政の計画とどう関わるか

・人口が多くなり、広い面積になった合併市が増えている。狭い範囲・地域で考えることが大切ではないか。

・議決権の拡大 本当に必要な計画なのかを審議することが大切。

小さな自治体は国が作っているマニュアル通りにつくっている。

国が地方に強いる形になっている。

地方分権に名を借りた国からの責任転嫁。

・2016年の1年間に法律によって、市町村に求められた「計画」

成年後見制度利用促進基本計画 努力規定

市町村民間データ活用推進計画 努力規定

地方再犯防止推進計画 努力規定

市町村無電柱化計画 努力規定

特定複合観光施設区域の整備にかかる構想 申請要件

市町村自転車活用推進計画 努力規定

市町村自殺対策計画 義務規定

市町村高齢者居住安定確保計画 できる規定

地域高年齢者就業機会確保計画 できる規定

③ 市民活動から議会への問いかけ

・議会として市民活動と協力できることは協力していく

④ 自治体政治の総量を上げる。

・自治体政治の総量＝議員数×時間で表す方法。

⑤ 「議員のなり手がいるほうが不思議」

・政治の何が好きか。(政治は決定すること)

・妥協：合意形成すること、討議：会派化、代表すること：主張、選挙：政党化、

・SNS時代では衆目の前で「争うこと」「批判すること」を嫌がり、自分が傷つかないで閉鎖的空間で一方向的に繰り返す。

(3) パネリスト 本多 節 ひまわり亭 代表取締役



・「市民フリースピーチ制度」。ビアンキ・アンソニー（60）が昨年5月に議長に就任し、制度を発案。市民が市民を代表する議員全員に意見を言う権利があるのは当然。長崎県五島列島北部にある人口約2500人の小値賀（おじか）町では、議場で傍聴者の意見を聞く「模擬公聴会」を続けている。一般質問が終わるたびに、傍聴者に「質問や意見がある方はいますか」と聞くやり方を取っている。

・「投票率アップ」・・・岐阜県可児市。18再選挙が初めて導入された2016年産議員選挙。全国の18歳の投票率51.3%に対し、90.8%。可児市の人口は約10万2千人。が「生産年齢人口」は減る一方。特に若者の流出が課題。地元の高校が取り組んでいた「地域課題解決型キャリア教育」で高校生と大人と一緒に考える場を作った。高校側も賛成。18歳選挙権導入を控えた15年12月の懇談会のテーマは「どうしたら選挙に行くのか」。会が終わった後、生徒会長の田口裕斗（20）が「模擬選挙をしてみたい」。候補者役の3人が医療や賑わいづくりなどをテーマにマニフェストを作り議員はその政策作りを手伝った。立ち会い演説会を開いた際に、何を基準に選ぶのかを議員がレクチャーした。投票箱や投票用紙は選挙管理委員会にたのんで本物を使った。4ヶ月後の参院選ではこの高校の18歳有権者87人中79人が投票した。

「TTP」・・・徹底的にぱくる。他の議会のいいところ取りをする。北海道の福島町の「議員通信簿」。長野県飯田市の「政策形成サイクル」。議会便りを読んだり、議会の傍聴したりして住民が議会にもの申す「議会モニター制度」、有識者にアドバイスをもらう「議会サポート制度」。

「議会事務局」・・・大津市。「議会のためにこんなことをしたらどうですか」と自分からはついする職員になろう。お世話係から軍師へ。議会の政策立案をサポートする体制作り。法規に詳しい人材配置の提案で政策法制係ができた。専門的知見を得るために大学と連携を始めた。その次は、「ミッションロードマップ」策定。任期4年間で議会が取り組むことをあらかじめ決め、2015年から始動。改革を加速。

「自浄作用」・・・兵庫県会議員の「号泣事件」。チェックしなくなることは身の回りにあった。政務活動費の支払方式など。

「議員のなり手不足」・・・2015年の統一地方選挙の定数に住める無投票当選者の割合は町村では21.8%、市では3.6%。長野県飯綱町。12年前に庁内のスキー場を運営する第3セクターが破綻し、町は4億3600万円（後に8億円に増額）の負担を抱え込んだことがきっかけ。議会はチェック機能を果たさなかった。2008年から回から議会改革に。「政策サポーター制度」。14年に「議会広報モニター」を8人から57人に増やした。「地域政策塾21」はまちづくりをみんなで考える会。

(4) パネリスト

小林紀夫

宇都宮市議会議長

- ・多様な市民には多様な考えを持つ議員が必要である。
- ・住民と議会が近くなるには選挙制度も1つの考えである。小選挙区であれば住民との距離は近くなる。

## 9 課題討議 「議会と住民の関係について」

(1) コーディネーター 江藤俊昭 山梨学院 法学部教授

### ① 議会の3原則（議会基本条例の精神）

- ア 閉鎖的な議会から住民に開かれ住民参加を促進する住民と歩む議会、
- イ 質問・質疑だらけの場から議員間討議を重視する議会
- ウ 追認機関でなく主張等と政策競争をする議会

### ② 議会の特徴（議会に地域経営の権限が付与されている）

- ア 多様性（様々な角度から事象に関わり、課題を発見できる）
- イ 討議（議会の本質の1つ：論点の明確化、合意の形成）
- ウ 世論形成（公開で討議する議員を見ることによる住民の意見の確信・修正・発見）

議決責任は説明責任を伴う。この責任を全うするには質疑だけではなく議員間討議が不可欠である。それを効果的に作動させるには独善性を排除しなければならない。だから、調査研究と住民との懇談が必要である。

### ③ 議会からの政策サイクル

- ア 起点としての住民との意見交換会で課題・調査研究事項を抽出する
- イ 行政評価項目と行政評価を実施し、予算要望をする。
- ウ 政策課題を調査研究、政策提言につなげる
- エ 総合計画の作成

(2) 事例報告者 桑田鉄男 久慈市議会副議長

「かだって会議」

- ① 議会報告会の反省。無関心・働き盛り世代・声なき声・一緒に語るを目標にした。
- ② 議会が市民の意見を聞く。議会と市民、市民同士で意見を交わす。
- ③ 対話手法（ワールド・カフェ形式）、対話スキル（ファシリテーション）
- ④ 空間・プログラム・プロセスなど議員が行う

(3) 事例報告者 伊藤健太郎 新潟市議会議員

主権者教育 学校と共同して主権者教育を

- ① 新潟県立大学・田口一博准教授「議会による主権者教育の取り組みについて」
- ② 議員研修会
  - ア 模擬市議会～合意形成のロールプレイング

イ 地域課題の解決に向けたワークショップ

ウ 市議会の傍聴・見学

エ 議員との交流・意見交換

- ③ 議員派遣は、全会派から、市立中学校では当該区選出議員以外の議員で
- ④ 議会内で実行委員会設置し、プロジェクトチームを結成。
- ⑤ 実施。高校 2 年生対象。市会議員に会ったことがある・・・0 人。国会議員に会ったことがある・・・数人。芸能人に会ったことがある・・・半数。100 金で買ったことがある人・・・全員。これが実態。
- ⑥ 模擬市議会でのロールプレイング。合意形成では、兄弟ではTVのチャンネル争いの合意形成はじゃんけん。兄弟ではハンバーグを食べるかカレーを食べるか・じゃんけん。きょうは兄の誕生日だから、兄の言うとおりにする。これが民主主義。
- ⑦ 平成 28 年度に 4 校・・・328 名の児童・生徒に実施（延べ 29 名の議員が参加）。平成 29 年度 225 名の生徒に実施（延べ 26 名の議員が参加）
- ⑧ 生徒へ模擬市議会実施前と実施後のアンケートより、関心があった（19 %）が（92 %）になった。
- ⑨ 模擬市議会への取り組みでは、
  - ・ 議長のリーダーシップ
  - ・ 企画は有志で行う
  - ・ 属人的な取り組みにならないように十分な配慮が必要である
  - ・ 学校への配慮（公聴会での周知、入念な打ち合わせ、教員の負担軽減 シナリオを議員側で全て作製してから、階ぞゆの飾り付けなど細かいところまで議員が行うなど）

(4) 事例報告者パネリスト ビアンキ・アンソニー 犬山市議会議長  
—「市民参加」と議会機能向上—

- ① 議員間討議の流れ
  - ・ 討論採決の前に議案に対する討議を行う
  - ・ 全員協議会で一般質問及び上程議案の内容等を協議する議員間討議をする
  - ・ 全員協議会かの議員間討議から執行部へ申し入れをする
- ② 政策立案・政策提言の向上
  - ・ 委員会の議員間討議を導入し、付帯決議、委員長報告での意思表示・政策提言する機会が多くなる
  - ・ 常任委員会で議員間討議の集約した意見を伝える
- ③ 市民参加の仕組みと効果

- ・ 市民フリースピーチ制度、女性議会（公募で「1日女性議員」を公募）、オープンドアポロシー、市民との意見交換会、親子議場見学会
- (5) 事例報告者パネリスト 道法知江 竹原市議会議員
- 女性と議会との関係 お互いが尊重し認め合う議会に
- ・ ミカン農家で働く女性たちとの出会いの中で、声を上げることができない母親たちやどんなに意見を言っても変化しない女性蔑視の社会を変えたいと思った。
  - ・ 議長として女性の議会運営委員長と二人三脚で、妊婦健診の拡大や乳がん、子宮頸がん対策を市へ提言。

## 10 土岐市では

### A 行政へ

#### 1 共生する土岐市を

##### (1) 高齢者の活躍できる政策

- ① 職場の間口を広げる。ユニバーサル就労。1人で全部を担うのではなく、一つの仕事をみんなで担い、できることをやっていく。
- ② 定年後男性の地域デビュー
- ③ 高齢者は体力向上だけではない。流動性知能は20代までの急速に伸び加齢により下がる（直感力 法則を発見する能力 図形処理能力 処理のスピード）、結晶性知能は65歳まで延び、徐々に下がる（言語能力 理解力 洞察力 批評能力 創造力 内省力 自制力 社会的応力 コミュニケーション力）、両方のもの（推理力 判断力 発想力 記憶力 計算能力）

#### 2 地方分権に名を借りた国からの責任転嫁。

- (1) 2016年の1年間に法律によって、市町村に求められた「計画」を土岐市について調査した

成年後見制度利用促進基本計画	努力規定
高齢介護課 福祉課	作成しない
市町村民間データ活用推進計画	努力規定
総合政策課	作成しない
地方再犯防止推進計画	努力規定
まちづくり推進課	東濃で意見交流はある
市町村無電柱化計画	努力規定
都市計画課	無電柱にした地域はあるが計画はない
特定複合観光施設区域の整備にかかる構想	申請要件
経済振興課	特定複合観光施設区域がないので作成しない

市町村自転車活用推進計画	努力規定
環境課	作成しない
市町村自殺対策計画	義務規定
健康増進課	作成中 31年度か32年度
市町村高齢者居住安定確保計画	できる規定
高齢介護課	作成しない
地域高年齢者就業機会確保計画	できる規定
高齢介護課	作成しない

法律によって作成が求められる計画は多いが、土岐市は義務規定だけを中心に策定している。

## B 議会へ

### 1 主権者教育 学校と共同する主権者教育について

- ・ 文部科学省や総務相は2年前にパンフレットを作成し配布しただけである。若者への広報のあり方はどのようにするのか。議会として主権者教育をどう取り組むのかを早急に議論する。

### 2 「市民参加」と議会機能向上

- ・ 1人の議員の意見より、議会としての意見の方が行政にとっては重みがある。予算案の修正可決。議員提出の条例改正、意見書などの国・県・市への提出、付帯決議で議会の考えを伝えるなど
- ・ 徐々に委員会や常任委員会で委員会討議を増やし、政策提言まで持って行蹴ることが望ましい。
- ・ 平日の夜や日曜日に市民のフリースピーチ制度を取り入れて、議会定例会中に、市民が議員への意見を述べることも必要。
- ・ 議会便りのモニター制度などを取り入れる。

## 1 2 地場産業・歴史的遺産を活用した観光振興及び世界文化遺産活用事例視察

宇都宮市の地域資源と鹿沼市の歴史遺産を活用した地域振興、地域ブランド確立・向上への取り組み事例、世界的にも有名な世界文化遺産を有する国際文化都市日光における観光の現状、課題などを踏まえた今後の展開についてに取り組み事例

### (1) 道の駅 うつのみや ろまんちっく村 宇都宮市新里町丙 254

農林業への理解を深め、食文化及び健康づくりに親しむ場を市民に提供することにより、農林業の振興と地域の活性化を図るとともに市民の余暇活動の充実に寄与している。近年、指定管理者による運営が奏功し、入場者数が増加している。

22年前に設置。6年前から「道の駅」に。10年前に指定管理に、85万人/1年間で140万人/1年間に来村者が増加。大きな池は大谷採石場のたまり水を引いて



きた。天然温泉は 1200 mの深さの温泉を湧かしている。レストランは委託から民間へ。昔はペットはダメであったが今は可。地下水を利用してイチゴを栽培、このイチゴは夏場の市場で販売。10年契約で2～3億円/年間。

指定管理者 株式会社 ファーマーズ・フォレスト

(2) 大谷資料館 栃木県宇都宮市大谷町

かつて採石業とともに発展してきた大谷地域においては、奇岩群などの特異な景観や採取場跡地などの魅力ある資源を活用することで地域振興に取り組んでいる。本年5月には大谷石文化の歴史が日本遺産の認定を受けた。地下空間が広がる大規模な採石場跡。素晴らしい音響効果、光がなければ全くの暗闇。合唱、演奏、映画撮影など多岐にわたって活用されている。

(3) 世界遺産「日光の社寺」(日光東照宮) 日光市

日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺の二社一寺の103棟の「けんぞうぶつぐん」とこれらを取り巻く「遺跡(文化的景観)」が、1999年(平成11年)12月開催の世界遺産委員会において、登録が決定されました。

(4) 屋台のまち中央公園 栃木県鹿沼市

中心市街地の重要な伝統文化の拠点として整備され、ユネスコ無形文化遺産「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」で巡行する絢爛豪華な彫刻屋台の展示収蔵施設を中心に、日本庭園「掬翠園」、市の観光物産の情報発信基地となっている観光物産館がある。27台の屋台がある。屋台1つとってみても屋台大工、車師、彩色師、彫工師など伝統技術が必要になる。屋台の組み立て、屋台を動かす技術、屋台の方向転換の技術も「きりん」「テコ廻し」など、屋台の保存。また、屋台の囃子も必要になる。鹿沼市の囃子も、小松流、新小松流、平戸流、新弥流、小門吉兵衛流、関白流、橋場流がある。

**1.3 「地場産業・歴史的遺産を活用した観光振興及び世界文化遺産活用事例視察」より、土岐市へ**

(1) 地産地消

- ① 地方のことは地方で、やれることをやっていく。
- ② エネルギーは自然エネルギー(太陽光発電、風力発電、小型水力発電など)の設置・活用。
- ③ 狭い土地でも野菜作りなどに高齢者に、無理のないように活動していただければ生きがいにも通じ、認知症予防にもなる。
- ④ 人材を育てる。時代を読む講師を招聘して大人塾の開催。大人が育たなければ子どもは育たない。

(2) 経済について

- ① 会社の本社、工場誘致、土岐市の税収を高めていく。
- ② 伝統産業である陶磁器のブランド力を高める。東濃西部で産出する蛙目粘土は世界的にも良質であり、折り紙付きである。
- ③ 土岐市民の平均収入額を高める。

### (3) まちづくり

#### ① 公共施設と民間施設の融合

1つの集合体としてのコンパクトシティのあり方で、市役所支所、スーパーマーケット、診療所、保育教育施設、高齢者住宅などがまとまった形で存在するまちづくり。

#### ② 公共施設の集合体

学校と高齢者施設、図書館と公民館、市民が活用できる道の駅など土岐市への入込客と市民が同時に活用できる施設の設営。

#### ③ インフラ整備

道路の整備により、効率の良いバッテリーを搭載した太陽光発電の電同バスを自動運転で周回させる。道路の整備は人の交流、災害時おける救援の迅速化など重要である。

#### ④ 公共施設の集合体や民間施設との融合体を有機的に結びつける。

### (4) 観光

- ① 視察したような世界遺産は土岐市にはない。市外からの方の評価は、自然があり、本当に良いところ。もったいない。など評価は高いので観光資源はかなりある考えられる。
- ② 無料 Wi-Fi サービスは当然であると考える。また、小型でも長文の通訳ができるような通訳器機も生まれてきており、まったく、外国語が苦手な人でも、対応ができる時代が来ている。
- ③ 東濃を一体として考えるべきである。1日を、観光客にどう過ごさせるか。お昼と休憩にどのような休みどころ、休み飲み物、つまむ物を提供するか。